

# 埼玉県立自然の博物館 ニュースレター



岩畳に咲くスズサイコの花

令和2年度特別展 「埼玉記念物100年 -埼玉の天然記念物ってどう思いますか?-」	P 2~3
臨時休館中の取組について	P 4
新型コロナウイルス感染症予防対策に係る当館の取組について	P 5
新任学芸員紹介	P 6
自然の博物館の四季	P 7
表紙写真解説 催し物のお知らせ（10月~3月）	P 8

と ろ

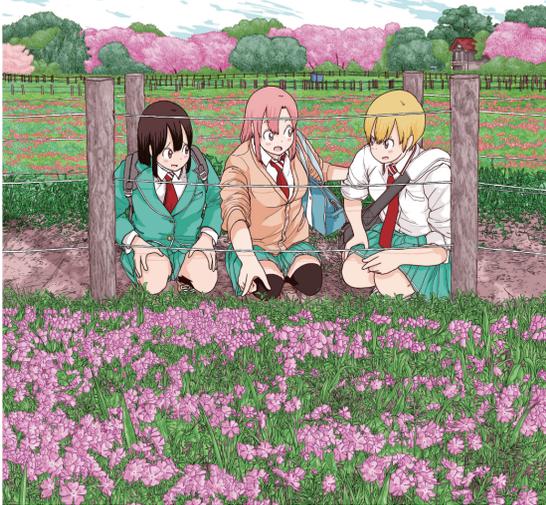
# 清 浄

# 35号

2020年9月発行

編集・発行  
埼玉県立自然の博物館  
Saitama Museum of Natural History

〒369-1305 埼玉県秩父郡長瀬町長瀬 1417-1 TEL 0494-66-040 4 (総務担当) 0407 (学芸担当)  
FAX 0494-69-1002 URL <https://www.shizen.spec.ed.jp> E-mail t660 404@pref.saitama.lg.jp



# 令和2年度特別展 埼玉記念物 100年

埼玉の天然記念物って  
Natural monument in SAITAMA.  
What do you think?  
どう思いますか？

会期：令和2年9月26日（土）  
～令和3年2月28日（日）

須田 大樹

大正時代に天然記念物の保護制度ができてから、100年の節目を迎えました。都市化の進む埼玉にも、たくさんの天然記念物があり、素晴らしい自然が残されています。

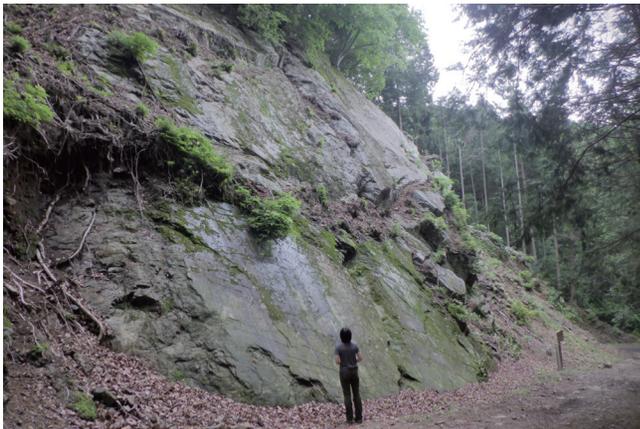
天然記念物は、単に観光名所であるばかりでなく、地域の自然の成り立ちや仕組みを理解する上で、カギとなる存在でもあります。現地の写真と当館ならではの豊富な標本により、埼玉の天然記念物の全体像をご紹介します。

## 第1章 埼玉の大地（地学展示ホール）

地質関連の天然記念物を見わたすと、埼玉の大地の成り立ちを理解することができます。

### （1）大洋の時代・大陸の時代

秩父の山々を構成しているのは、海の底あるいは大陸の縁で形成された、日本列島の骨格を形づくっている古い時代の岩石です。石灰岩やチャート、結晶片岩などが侵食や断層運動などにより独特の地形となり、天然記念物に指定されている場所があります。



令和元年 県指定「龍ヶ谷の障子岩」  
(越生町)

### （2）古秩父湾の時代

秩父盆地や比企丘陵周辺には、日本海が拡大して日本列島の原型が誕生した時代の堆積岩が分布しています。平成28年、「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」が国の天然記念物に指定され、当館で全ての化石（9件）を展示しています。

### （3）列島の時代

秩父盆地内や県平野部の広い範囲に、河川による侵食と堆積によって形成された新しい時代の地層が分布しています。大部分が田畑や市街地などになっていますが、国内では珍しい内陸砂丘などが天然記念物に指定されています。



平成29年 県指定「中川低地の河畔砂丘群 志多見砂丘」  
砂丘上に成立したアカマツ林（加須市）

## 第2章 埼玉の自然環境（生物展示ホール）

植生関連の天然記念物を見わたすと、埼玉の自然環境の全体像を理解することができます。

### （1）亜寒帯

コメツガなどの常緑針葉樹林が中心となる植生帯で、奥秩父の標高の高い場所に分布します。天然記念物にはなっていませんが、十文字峠などで良好な原生林を見ることができます。

## (2) 冷温帯

ブナやミズナラなどの夏緑広葉樹林が中心となる植生帯で、秩父山地に広く分布しています。太平洋側の溪谷林を代表する植生として、シオジ林が天然記念物に指定されています。



平成 25 年 県指定「大山沢のシオジ林 (秩父市)」

## (3) 中間温帯

内陸の埼玉県には、降水量の少なさや人為の影響などによって、冷温帯のブナも暖温帯のカシ類もあまり分布しない「すき間」があり、秩父盆地周辺がこれに当たります。二次的な環境が多く、植生として指定されている場所はありません。

## (4) 暖温帯

カシ類やスダジイなどの照葉樹林が成立する植生帯で、低山から平野部に広く分布します。社寺林などでその片鱗を感じることができ、天然記念物に指定されている場所があります。

## 第3章 埼玉の動植物 (企画展示室)

天然記念物に関連する動植物の標本を一挙公開。動植物の天然記念物に注目すると、埼玉の希少種を取り巻く現状が見えてきます。

ステゴビルのレプリカやミヤコタナゴの樹脂封入標本など、初公開の資料もあります。



秩父市・坂戸市で生育地が指定されているステゴビル

## 第4章 人と自然との関わり (企画展示室)

暮らしとともに残されてきた天然記念物を紐解くと、人と自然との共生の歴史が見えてきます。二次的な自然を守っていくうえで欠かせない、保全の取り組みについてもご紹介します。



“焼いて守る” 国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」(さいたま市)の火入れ

## 第5章 過去、現在、未来 (企画展示室)

時代によって少しずつ変化してきた指定のトレンドを読み解くと、その時代の社会背景が見えてきます。天然記念物の歴史をひも解くとともに、現在どのようなものが評価され指定が進められているのか紹介し、また今後どのようなものが指定されていく可能性があるのか考えます。

埼玉で見つかったら天然記念物級！？県内にも分布する山中白亜系で見つかった恐竜化石のレプリカも、展示します。



サンチュウリュウ胸椎骨化石  
原標本所蔵：群馬県立自然史博物館

100年にわたり、後世に伝えるべき人類共有の財産を探り、保護を図ってきた天然記念物。この展示をきっかけに、地域の天然記念物に改めて目を向けていただければ幸いです。

(すだ だいき・学芸員)

## 臨時休館中の取組について

秋元 清二

新型コロナウイルスの影響により、当館は令和2年2月29日から5月31日まで臨時休館の措置を行いました。展示をご覧いただけない状況が長く続く中で実施した取組について、ご紹介します。

### ①広報活動

「自宅にいても博物館を感じられる広報」を目指しました。主な広報手段はどこでも閲覧が可能なwebとし、HPとtwitterを活用しました。

twitterへの投稿

当館では、自然に関する話題を中心に投稿を行っています。展示物の紹介をはじめ、博物館周辺の自然、学芸員の仕事内容、イベント案内と多岐にわたります。



展示している資料の紹介(カルカロドン・メガロドンの歯)



博物館のアカマツに産卵するヒメバチの仲間

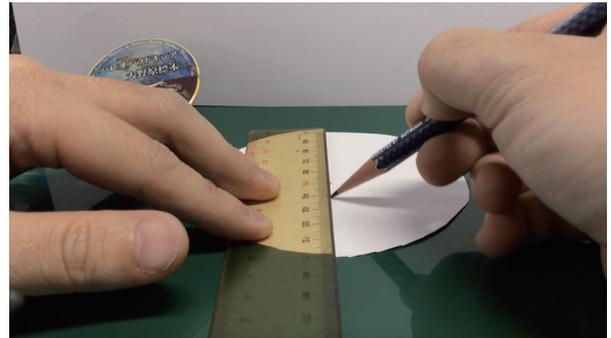
臨時休館中に展示室トイレの手洗い場から植物(ヌスビトハギ)の芽が出た投稿には、多くの「いいね」をいただきました。



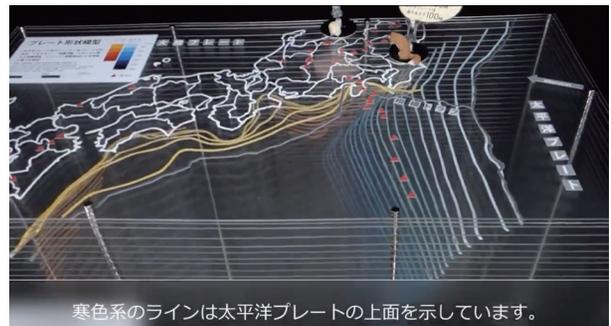
手洗い場から芽を出したヌスビトハギ

### ②教育普及活動

新たな試みとして、動画の制作とYouTubeへの投稿を行いました。自宅で楽しめる工作要素を含んだ動画や、自然に親しむ入口となるような解説動画、企画展の見どころ紹介といった、子どもから大人まで、幅広い年齢層を対象としています。

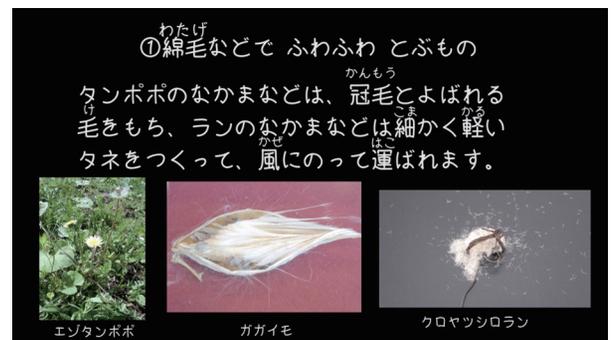


タンポポのタネ模型をつくろう



寒色系のラインは太平洋プレートの上面を示しています。

企画展の展示物を用いた解説



植物のタネについての簡単な解説

### おわりに

今回の取組では、臨時休館中であっても博物館の魅力伝えることが可能であると再認識することができました。

来館を前提とした取組だけでなく、実物とバーチャルの良い面を活用した当館の広報活動、教育普及活動は今後も続きます。

(あきもと せいじ・主任)

## 新型コロナウイルス感染症予防対策に係る当館の取組について

秋元 清二

当館では令和2年6月2日から、展示室の観覧を再開しました。感染症予防対策が求められる状況下において実施した取組について報告します。

### 基本的な考え方

埼玉県では、県有施設の再開にあたり『彩の国「新しい生活様式」安心宣言』を作成しました。この安心宣言には、社会的距離の確保や手指消毒・マスク着用の徹底、館内の定期的な換気といった感染症予防対策に関する具体的な項目が挙げられています。

この対策を来館者へ周知し、理解していただくための広報や必要な物品等の整備が実際に博物館が取り組む作業になります。

### 周知の方法

#### ①看板での周知

博物館に来た来館者が最初に目にするのが、感染症予防対策を知らせる看板です。設置場所によって大きさや記載内容を変え、当館の取組を理解していただくと同時に、来館者が戸惑うことのないよう配慮しています。



具体的な取組を記載した看板



入館制限に関するお知らせ

#### ②ホームページ、twitterでの周知

来館者に対して事前に当館の取組を知ってもらうための広報媒体はwebを活用しました。ホームページに、具体的な対策内容や来館に当たっての注意事項を掲載しました。

twitterは投稿文字数に制限があることから、ホームページの閲覧を促すことにしました。

### 具体的な感染症予防対策

#### ①展示室入館までに

来館者には、入館前に手指消毒をしたうえで、検温、入館者カードの記入をお願いしています。



検温、入館者カード記入、手指消毒の実施  
(待機場所は動物の足跡で表示)

#### ②展示室の状況

展示室では、「さわれる剥製コーナー」、「ディスプレイコーナー」「貸出用音声ガイド」といった多くの人に触れる展示などを中止し、見学導線を設けたうえで、館内に滞在できる人数を60人に制限しています。土日祝日には、数十分～1時間程度の入館待ちが発生しています。



導線を設定し、剥製は観覧のみとした

### おわりに

感染症予防対策を実施しながらの開館は試行錯誤の段階です。季節や来館者数によって、今後も柔軟かつ適切に対応を続けてまいります。

(あきもと せいじ・主任)

# 新任学芸員紹介

山岡 勇太



## 自己紹介

令和2年4月より、自然の博物館に配属となりました、学芸員の山岡勇太と申します。地質学（無脊椎動物化石）が専門で、地層や軟体動物の化石を研究しています。

## 学生時代の研究テーマ

私は幼い頃から生き物が大好きで、生物がどのように進化するのか、その仕組みについて興味を抱いてきました。その謎の一端を明らかにするために、「貝化石」というツールを用いて、進化の仕組みを探る研究を行っています。

二枚貝や巻貝は、石灰質の硬い殻をもつため地層中に保存されやすく、見つかる数も膨大であるため、化石から非常に多くの情報を抽出することができます。こうした利点を活かして、過去に絶滅した化石種と、子孫に当たる現生種を対象に、「形」や「生態」などを比較・検討することで、生物が「いつ」、「どこで」、「どのように」進化してきたのか、その仕組みを明らかにしていきたいと考えています。

学生時代は、食用貝としても有名なトリガイやサルボウガイなどの身近な貝が、地球の歴史の中でどのように出現し、進化してきた

のかを研究していました。同時に、高知県の室戸半島でフィールドワークを行い、約300万年前の古土佐湾にどのような生き物が暮らしていたのかについても調査を行いました。

## これまでの仕事

大学院を卒業後は、富山県東部にある立山黒部ジオパークで、ジオパーク専門員を務めました。ジオパークとは「大地（Geo）の公園（Park）」という意味で、学術的に価値のある地形・地質を守りながら教育や観光などに活用することで、持続可能な地域を目指すプログラムです。ここ、自然の博物館のある秩父地域もまた、ジオパーク秩父に認定されています。

立山黒部ジオパークは、標高3,000mの飛騨山脈から水深1,000mの富山湾まで4,000mの高低差を体感できる地域です。このダイナミックな地形地質を題材として、地域の学校で出前授業を行ったり、地質や景観を楽しむを新たなツアー商品を開発したりと、立山黒部ジオパークの普及啓発に取り組みました。

## おわりに

埼玉県ではこれまで、古生代から新生代までの多種多様な化石が発見されています。これらの化石は、当時の埼玉県の環境を知るためのヒントを私たちに教えてくれます。こうした情報を化石から読み取り、翻訳して分かりやすく伝えることが、学芸員である私の役割であると感じています。今後は、化石からみた埼玉の魅力を発掘し、来館者の方々や、県内外に積極的に発信していきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

（やまおか ゆうた・学芸員）

## 自然の博物館の四季

飯田 徹

当館は豊かな自然の中にあります。周辺の環境も含めて博物館のフィールドと言ってよいかもしれません。これらの自然は、季節によって様々な表情を見せてくれます。

ここでは私が着任以来撮りためた写真の中から、一押し(?)の一枚でその魅力を紹介します。

### 「春」 - 色とりどりに -

この季節の長瀬は、何ととっても満開の桜。桜並木以外にも見どころが……。ここはウグイスの鳴き声に誘われて見つけた場所です。



橋梁と桜と川の流れ  
運がよければ、頭上に電車、川面に舟下りの姿が！

### 「夏」 - まぶしい緑 -

緑濃いヒマラヤ杉やカエデに守られ、漏れる陽光に目を細めながら、博物館の自然を満喫するのはいかがでしょうか。



「カエデの森」の園路でひと休み

### 「秋」 - あざやかな赤 -

木々の葉が赤く色づく紅葉も素敵ですが、その少し前の時期には、足元一面が紅い花で埋め尽くされる場所に出会えました。



ヒガンバナが秋の訪れを教えてくれる

### 「冬」 - 澄んだ空気と柔らかな光 -

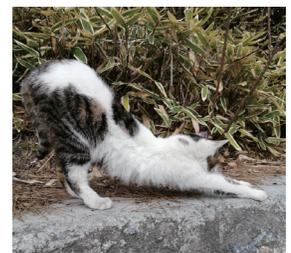
葉を落とした木々。長く伸びた影がレンガ色に映し出されます。その奥には透き通るような空。この季節ならではの楽しみ方があります。



誰もいない時間、博物館を独り占め



…と思ったら 先客が…



ストレッチしてリラックス！

窮屈な日常からしばし離れ、季節毎にお気に入りの長瀬を、自然の博物館の魅力を発見していただけたらうれしく思います。

(いいだ とおる・館長)

## 岩畳に咲く夜の花

鐵 慎太郎

スズサイコ(鈴柴胡)はキョウチクトウ科の多年草です。細長い葉を対に付け、夏には房状に5弁花を咲かせます。繊細な草姿が涼しげで、夏の暑さを忘れさせてくれます。全国的に減少している植物であり、埼玉県レッドリスト2011では絶滅危惧IB類という高いランクに位置付けられています。

本種の花は夕方に開いて翌朝に閉じる“夜型”の特性をもち、夜行性の蛾によって花粉が運ばれます。昼間は花が閉じており、そのつぼんだ様子を“鈴”に見立てたのが和名の由来です。なお、“柴胡”は、セリ科の薬草の柴胡(ミシマサイコ)に草姿が似ることになんでいます。

撮影時は日没直前の曇天。特徴的な姿を活かしたいと考え、白んだ空をバックに撮影しました。  
(てつ したろう・学芸員)



2020年7月撮影

## 催し物のお知らせ(10月～3月)

### 展示

	タイトル	期間	内容
特別展示	埼玉記念物100年 —埼玉の天然記念物ってどう思いますか?—	2021年 9月26日(土)～2月28日(日)	大地の成り立ちや自然環境の現在の姿、人と自然との関わりを、埼玉の天然記念物を通して紹介します。
企画展示	新収集品展	2021年 3月13日(土)～6月20日(日)	平成27年度から現在までの間に、採集や寄贈によって集まった1万点超の資料から選りすぐりを展示します。
パネル展示	天然記念物キャラクター大集合!	9月1日(火)～11月29日(日)	親しみやすいご当地キャラクターを通じて、身近な天然記念物についてご紹介します。
	#埼玉巨樹番付	2021年 12月1日(火)～2月28日(日)	埼玉県にある「巨樹」を番付表形式で紹介합니다。

※開館時間 9:00～16:30 休館日:月曜日(※祝日、振替休日の場合は開館)、12月29日～1月3日、9/7～9/14

### イベント

	タイトル	日時	場所	参加費	対象
観察会	天然記念物観察会 日本最大の内陸砂丘を見よう	11月28日(土) 10:00～15:00	集合・解散 東武伊勢崎線 南羽生駅	300円	小学生以上
自然史講座	鉱物図鑑づくり	10月24日(土) 13:00～15:30	当館 講堂	500円	小学生以上
	研究発表会	12月5日(土) 10:30～15:00	朝霞市博物館	無料	小学生以上
	岩石学のススメ(野外編)	2021年1月30日(土) 13:00～15:30	集合・解散 当館	300円	小学生以上
	化石のレプリカづくり	2021年2月27日(土) 13:00～16:00	当館 科学教室	500円	小学生以上

※ 観察会、自然史講座は事前に申込みが必要です。

※ 新型コロナウイルスの影響により、催し物のスケジュール等が変更になる場合があります。

詳しくはお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。